

Astemoダイアグノスティックツール HDM-10000ソフトバージョンアップ情報

ソフトバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。なお、Wi-Fiでのバージョンアップは時間がかかる場合があります。

[HDM-10000ソフトバージョンアップ手順](#)

«J2534モードのファームウェア»Ver.1.90

検査用スキャンツールのVCIとして使用するとき起動するJ2534モードのファームウェアをバージョンアップし、ISO13400における複数ECUとの通信に対応しました。

【ファームウェアのバージョンアップ方法と完了の確認方法】

①通常のソフトバージョンアップ手順を最初に行ってください。

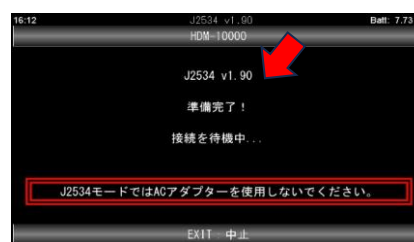
[HDM-10000ソフトバージョンアップ手順](#)

②上記①が完了したら車両側DLCコネクタにHDM-10000を接続してください。

③HDM-10000メニューで特殊機能を選択してENTERキーを押してください。

④特殊機能でJ2534モードを選択してENTERキーを押してください。

⑤J2534モード(右図)の赤矢印で示す箇所に「v1.90」と表示されていればファームウェアがVer.1.90にバージョンアップされております。※



※ファームウェアのバージョンアップ後に、OBD検査、またはOBD確認を行ったとき、特定DTC照会アプリに「検査用スキャンツールとの接続に失敗しました」などのメッセージが表示される場合は、HDM-10000を車両から取り外し、再度、下記リンク先に掲載している取扱説明書の35ページから39ページを参照し、「6.J2534モードの起動」、「7.PCとの接続設定」「8.特定DTC照会アプリとの接続設定」を行ってください。

[取扱説明書](#)

【補足事項】

- ファームウェアが旧バージョン1.84のHDM-10000でもOBD検査、OBD確認による結果は有効です。
また、検査用スキャンツールとして継続して認定されております。

«UD»Ver.3.03

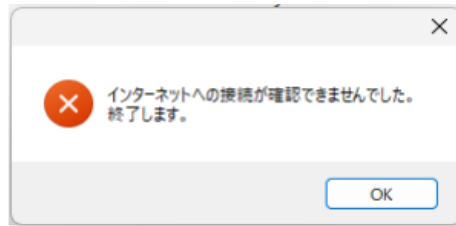
- 下表の内容で作業サポートを追加しました。

対象システム	左記のシステムに追加された作業サポート
前方監視カメラ	● 前方監視カメラ
前方監視レーダー	● 前方監視レーダー
ESCOT	● クラッチ摩耗点検 ● ギヤボックス、クラッチ、作動位置

(次ページに続きます)

«「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示された際の対応について»

PC上でアップデートツールをクリックして下図のメッセージが表示された際は、下記の1項または2項をご参照の上、アップデートツールのバージョンアップを行ってください。



1.2025年5月30日～2025年9月30日までに診断ソフトのバージョンアップをされているユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の1～2ページの操作を行ってください。

[ダイアグノスティックツールのダウンローダーアップデート作業に関するエラーメッセージ表示について](#)

2.新規ユーザー登録を2025年5月29日以前に行い、かつ、2025年9月30日まで診断ソフトのバージョンアップをできていなかったユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の操作を行ってください。

[HDM-10000ダウンローダーのアップデート手順](#)